

(基調講演二 配布資料)

「創業の秋(とき)に臨んで」札幌市公文書館の未来」

富永一也

0. はじめに

- ・何を議論しないか／最も透明な札幌市公文書館設置へ向けての議論
- ・何を議論するか／目に見えないもの

1. 公文書館とは何か

- ・記録のライフサイクル
- ・公文書館のニッチ(生態的位置)と機能評価
- ・アカウンタビリティー(「説明責任」)かレスポンスビリティか
- ・感想戦とダウトゲーム

- ・記録のピラミッドと危険水域
- ・善意が公文書館を支える／沖縄県職員の事例
- ・将来世代のために木を植える

2. 開設期の留意点

- ・初期値設定の重要性
- ・戦略は理念に、理念は哲学に従属させよ

・危険な万能感

- ・政治とのつきあい方
- ・マスコミとのつきあい方
- ・組織評価の問題に向き合う
- ・人材についての考え方

3. 札幌市公文書館の未来

- ・大切なことは目に見えない
- ・公文書館バブルが来る
- ・淘汰圧と進化
- ・裾野の広がり／と頂点の高まり
- ・衰退の芽は創業時に胚胎している
- ・衰退と再生／ある図書館の話
- ・洞察と布石

4. おわりに

将来世代の代理人たちを見いだせ

その他、当日は希望する方に富永氏の論文「演繹的公文

書館論「将来世代の代理人たちを求めて」(『沖縄県公文書館研究紀要』第一三号、二〇一一年三月)を配布いたしました。こちらの論文は、沖縄県公文書館のホームページと琉球大学の「沖縄地域学リポジトリ」でご覧いただけます。

沖縄県公文書館

<http://www.archives.pref.okinawa.jp/publication/kiyou%202010%20tomnaga.pdf>

琉球大学沖縄地域学リポジトリ

http://okinawa-repo.lib.u-ryukyuu.ac.jp/citation-item-list?citationvolno_id=140335

ちなみに、質疑応答で「図書館関係の資料」として言及されているのは、次の二つです。

富永一也「私は沖縄県立図書館に期待する」(『沖縄県図書館協会誌』第一〇号、二〇〇六年十二月)

宮城涼子「100年の歴史を未来につなぐ…沖縄県立図書館創立100周年の取り組み」(『沖縄県図書館協会誌』第一四号、二〇一〇年十二月)